

議会だより すその



定住移住促進事業（首都圏向けラッピングバス運行事業）

6月定例会 No.124

平成28年8月1日

発行：裾野市議会

- 6月定例会議案の賛否 2～3
- 予算決算委員会 4
- 一般質問 15人が市政を問う 5～9
- 追跡！あの質問どうなった？ 10
- 第4回 議会報告会 11

6月定例会が開かれました!

6月定例会では31の議案を審議・可決しました。本定例会から予算決算委員会での審査を導入しました。

議案の賛否

※全ての議案を掲載していますが、賛否の分かれた案件は賛否の一覧を記載しています。
 ※議長（二見榮一）は採決には加わりません。

※賛成は○、反対は●で表記しています。

	岩井良枝	中村純也	井出悟	村田悠	廣瀬主博	小田圭介	杉山茂規	佐野利安	土屋秀明	二ノ宮善明	勝又明	杉本平治	賀茂博美	芹澤邦敏	増田喜代子	岡本和枝	小林俊	内藤法子	杉本和男	三富美代子	二見榮一	結果
第54号議案	マイナンバーカードを利用したコンビニ設置端末での証明書などの交付が開始され、本庁舎設置の自動交付機を廃止するための、市印鑑条例の一部改正を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第56号議案	本庁舎設置の自動交付機を廃止するための、市手数料条例の一部改正を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第57号議案	御宿台保育園の施設管理および運営に指定管理者制度を導入するための、市保育所条例の一部改正を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第58号議案	御宿台保育園に隣接する北児童館の施設管理および運営などに指定管理者制度を導入するための、市児童館条例の一部改正を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第59号議案	児童福祉施設および家庭的保育事業などの設備、運営に関する基準を改正する省令が施行されたための、市関係条例の一部改正を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報第1号	事業が平成27年度内に完了せず、これに伴ってその経費の支出が年度内に完了しない見込みがあり、翌年度に繰越して使用するものについて、当該予算を次年度に繰り越すことを了承																				了承	
報第2号	事業を平成27年度内に執行したが、天候不順による工事の遅れや、登記手続きに不測の期間を要すなど、避け難い事情により、年度内に支出が終わらなかったため、当該予算を次年度に繰り越すことを了承																				了承	
報第3号	下水道事業が平成27年度内に完了せず、これに伴ってその経費の支出が年度内に完了しない見込みがあり、翌年度に繰越して使用するものについて、当該予算を次年度に繰り越すことを了承																				了承	
報第4号	土地開発公社の経営状況を報告書で確認・了承																				了承	
報第5号	一般財団法人 裾野市振興公社の経営状況を報告書で確認・了承																				了承	
報第6号	市道の側溝蓋の設置不良で生じた損害賠償を、市長が議会の議決を経ずに市長権限で決めたことを、確認・了承																				了承	
報第7号	市設置の消火ホース格納箱の設置不良で生じた損害賠償を、市長が議会の議決を経ずに市長権限で決めたことを、確認・了承																				了承	
報第8号	公務中の交通事故で生じた損害賠償を、市長が議会の議決を経ずに市長権限で決めたことを、確認・了承																				了承	
承認第2号	行政不服審査法が平成28年4月1日に施行される事に伴い、市固定資産評価審査委員会条例の一部改正を、議会招集の期間が無かったため、市長が議会の議決を経ずに市長権限で決めたことを、確認・承認																				承認	
承認第3号	法人市民税の減額更正で早急に還付する必要性が生じ、議会招集の期間が無かったため、市長が議会の議決を経ずに市長権限で決めたことを、確認・承認																				承認	
諮問第1号	市人権擁護委員が任期満了したため、次期委員を審議																				適任	
第50号議案	市固定資産評価委員が退任したため、次期評価員を審議																				同意	

	岩井良枝	中村純也	井出悟	村田悠	廣瀬主博	小田圭介	杉山茂規	佐野利安	土屋秀明	二ノ宮善明	勝又明	杉本平治	賀茂博美	芹澤邦敏	増田喜代子	岡本和枝	小林俊	内藤法子	杉本和男	三富美代子	二見榮一	結果
第51号議案	地方税法等の一部を改正する法律が公布されたため、市税条例の一部改正を審議																				原案可決	
第52号議案	地方税法等の一部を改正する法律が公布されたため、市都市計画税条例の一部改正を審議																				原案可決	
第53号議案	地方税法等の一部を改正する法律が公布されたため、市国民健康保険税条例の一部改正を審議																				原案可決	
第55号議案	マイナンバーカードを利用したコンビニ設置端末での証明書などの交付が開始され、本庁舎設置の自動交付機を廃止するための、市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正を審議																				原案可決	
第60号議案	電気事業法などが一部改正されたため、市道路占用料等徴収条例の一部改正を審議																				原案可決	
第61号議案																					原案可決	
第62号議案	市道の認定・変更・廃止を審議																				原案可決	
第63号議案																					原案可決	
第64号議案	一般会計の補正予算（第2回）の審議※主に地方創生関連予算、耐震改修、橋梁の長寿命化など																				原案可決	
第65号議案	国民健康保険特別会計の補正予算（第1回）を審議																				原案可決	
第66号議案	土地取得特別会計の補正予算（第1回）を審議																				原案可決	
第67号議案	一般会計の補正予算（第3回）を審議※主に寄付金・迷惑電話非着信装置設置事業など																				原案可決	
議員提出議案第4号	県内市町議会議員の研修会（静岡市）に議員全員を派遣することを審議																				原案可決	
意見書案第3号	自動車関係諸税の抜本改革についての意見書を審議																				原案可決	

議案に対する討論

第54号議案 市印鑑条例の一部改正

反対 ①4月末までシステムの不具合でマイナンバーカードの発行が遅延、②自動交付機の廃止で市民の利便性が低下、③コンビニ交付で個人情報漏洩のリスクが懸念される。

賛成 コンビニ交付は市内で22カ所、6時から23時まで可能と格段に利便性が向上。

第56号議案 市手数料条例の一部改正

反対 自動交付機の手数料200円に対し、コンビニ交付手数料は300円となり、市民負担が増加。

賛成 自動交付機の老朽化で稼働に支障が発生しており、廃止の代替としてコンビ

ニ交付となった。一定期間の措置として並行稼働も実施している。

第57号議案 市保育所条例の一部改正

反対 ①西の幼保一体の取り組みの検証、議会への報告が充分でない。②子どもたちへの影響の視点も考慮されていない。

賛成 幼児施設基本構想が策定され、方針が示されたがどれも進んでいない状況。今回の提案は民営化に向けた取り組みで子育て環境改善の一翼を担う。

第58号議案 市児童館条例の一部改正

反対 特に問題がある訳ではない北児童館に指定管理者

制度を導入する必要性はない。

賛成 御宿台保育園と北児童館は利用者が共通であり、連続性がある。事業を交流・共有することで更なるサービスの向上に繋がる。

第59号議案 市家庭的保育事業等の設備・運営の基準を定める条例の一部改正

反対 最低基準を更に引き下げ、安易にみなし保育士を認める事は、子ども達の健やかな成長を妨げ安全面も懸念が生じる。

賛成 制度上では既に、より緩和された事業類型があり、改正で保育の質が極端に低下するとは考え難い。国の交付金要綱に合わせた運用をする事から、常に国の基準に合わせたいく事が適切。

予算決算委員会報告

総務分科会

■ 企画政策課 ■

地方創生交付金を前提とした事業の組み立ては、成果重視の観点で好ましくないのでは。

地方創生で成果指標を設定し、その中で重点事業と位置付けられた事業を計上した。

地方創生関連交付金の減額は、予算編成時は未確定だった交付金制度が確定、変更されたため。

■ 財政課 ■

土地開発基金の現在残高は、約3億7,100万円。

■ 総務管財課 ■

特別旅費の事業内容と派遣後は、

平和都市宣言を記念して中学生10人と引率者2人を広島に派遣。その後報告会、戦没者慰霊祭や各学校での発表会を計画。

■ 市民課 ■

印鑑登録証の購入費の詳細は、

在庫の印鑑登録証のカードには「市民カード」の文字が印刷されているので廃止する。単価121円で、6,600枚を購入する。

■ 危機管理課 ■

自主防災会への防災資機材交付金制度の周知は、

自主防災会総会でマニュアルを配布して周知している。

厚生文教分科会

■ 学校教育課 ■

各中学校から男女1人ずつの広島派遣事業で、派遣生徒の選考基準はあるか。

各校の判断に任せている。

修学旅行への講師派遣の内訳は、

要望のあった小学校6校で1人ずつ計6人。

■ 教育総務課 ■

東小学校で購入される熱中症指標計の使い方は、

熱中症危険度が数値として表れ、主に養護教諭が屋外活動などの自粛の判断材料とする。

須山小学校プールシャワー温水化工事について。現在は温水でないのか。

現在は水であり、気候的なこともあり、冷たくて児童が利用しにくい。

■ 健康推進課 ■

妊婦産後ママ交流事業は縮小となるか。

講話に合わせ託児を考えていたが、2回を1回に減らし、次年度の継続は意見を求めている。

■ 子育て支援課 ■

ウェブサイトデザイン修正委託などは取りやめか、内容変更か。

修正委託は必要となった時に実施する分の予算として計上。

産業建設分科会

■ 商工観光課 ■

労働諸費、勤労者住宅建設利子補給172万円の増額で、年度内は足りるか。

当初予算の25件は予定があり30件を追加した。年度内は足りる。

■ 農林振興課 ■

屋上緑化推進事業生産者活動助成金の120万円減が事業に与える影響は、

地方創生推進交付金（補助率50%）から地方創生加速化交付金（補助率100%）に乗り換えたための財源振替で、事業への影響は無い。

■ 建設管理課 ■

東名^{ことうきょう}跨道橋長寿命化補修工事委託費の800万円増額の理由は、

当初NEXCO支援のもと、市で工事監督を行う予定だった。しかし東名高速道路の規制やそれに伴う業者選定などが市の主導では難しい事や、国・県・市町の他の工事との工事時期の調整などが必要のため、NEXCOに委託する事とした。そのため工事、施工管理委託費、事務的経費が増額となった。



東名^{ことうきょう}跨道橋

一般質問

教育



質 向田小の児童が加速度的に減少するのは明らか。このままにしておくのか、保護者の意向は確認しないのか。(井出悟)

答 急激な減少は無いと思われるので統合や再編の検討はしない。平成26年度のスクールコーディネーターの聞き取り調査では、小規模校の特徴が生かされているという意見が多かった。複式学級にならないことから意向確認は行わない。

質 東中学校の夜間照明の撤去理由と今後の再設置は。(勝又明)

答 設置から30年が経過し、老朽でコンクリートがひび割れ、倒壊の恐れがあるため。利用状況、再設置に要する費用から難しい。

質 多くの団体が東小学校を夜間使用しているが、照明が暗く安全性から見ても問題があるのではないかと。(勝又明)

答 深良中学校のグラウンドの利用を検討していただきたい。

質 昨年9月議会で、学校図書館司書を配置する補正予算が生まれ、4人の学校司書が配置された。今年度、全校配置が期待されたが、学校司書の配置がなかった理由は。(岡本和枝)

答 学校現場では個別の支援を必要とする子どもが増えている。子どもたちへの支援を優先すべきと判断した。学校司書の仕事は講師にお願いしている。

質 平成25年度の特別支援教育奨励交付金は66万円、平成28年度は29万円。学級数は減っていない。大幅減額の原因は。(岡本和枝)

答 本来、学級単位で使うことを対象とする交付金。必要な物があれば予算要求をする。

質 市内には多くの歴史的遺産が残っていると考えるが、これらを教育にどう生かしているか。(廣瀬主博)

答 小中学校の副読本で市内の歴史的遺産、史跡などの紹介、ほんものふれあう事業の実施や、小学校の遠足で実際に見て触れている。

質 市内の子どもたちに歴史遺産の素晴らしさを伝えるために、学術調査が必要だと考えるが。(廣瀬主博)

答 学術調査には費用的に非常に高額な金額がかかる点を一番危惧している。その点を考えると学術調査に着手するのは困難と考える。

質 学びの森事業の教職員相談事業の実績や、効果、改善点はどうか。(小林俊)

答 指導員3人で教員が直面する問題183件の相談を受けた。指導員が出向き相談にのることが多い。着実に継続したい。

安心・安全・防災



質 地域防災計画で女性の視点、福祉避難所の見直しと新たな工夫点は。(内藤法子)

答 福祉避難所を増やし、自主防災組織などでの女性責任者の配置を記述した。富士山火山防災対策では避難対象エリアを図示。ヘルシーパークを一時滞在者用避難所およびリフレッシュセンターに指定などの工夫をした。

質 中学生を防災力の担い手として、ジュニア防災士養成講座の活用は。(内藤法子)

答 原則として学校単位となっているので学校や関係機関と調整を行っていききたい。

質 高齢者の交通事故減少のためにも、裾野市高齢者運転免許自主返納サポート制度を構築すべきと考える。支援をどのように考えているか。(二ノ宮善明)

答 高齢者の事故減少施策の推進は、公安委員会が行うものとする。市の支援は、他市町の自主返納施策による効果を見極めながら検討していきたい。



交通安全街頭キャンペーン

一般質問

質 小中学生を対象に、防災に興味をもつ事や意識向上のためゲーム感覚で学べる DIG や HUG を取り入れる考えは。（杉山茂規）

答 小中学生が DIG や HUG を体験することは非常に有意義と認識している。地域地震防災指導員や経験者を中心に各自治会で実施してもらうことが効果的と考え、各自主防災会に HUG グッズを配布し子ども達が体験できるようにする。

質 子ども会や地域の子育て団体などは積極的に活動を行っている。一つの企画として使ってもらえるようそれら団体に、地域地震防災指導員会の各種メニューや、県の制度などの補助メニューをPRできないか。（杉山茂規）

答 団体への広報も市民への防災意識向上に大きく寄与するので実施していく。

質 防災意識向上や災害時に役立つ市民向けの緊急事態対応カード※を作らないか。（杉山茂規）※緊急時の行動指針や緊急連絡先などを記載した名刺サイズに折り畳んだポケットメモ。

答 市民自身がオリジナルの情報カードを各家庭で作ってほしい。



DIG: 災害想像ゲーム HUG: 避難所運営ゲーム

質 防災に関する重要事項や地域防災計画を決定する市の防災会議の女性割合は現在3.5%である。国の方針では女性を積極的に登用するように提言された。非常時に安心して生活できる避難所運営などに女性の意見も反映できるような防災会議への女性の登用を。（賀茂博美）

答 今年度の防災会議から女性委員を1人増員する予定。また、子育て世代の女性や、子育て支援の関係部署にも投げかけ、適任者がいるか協議していく。

まちづくり



質 三島のスカイウォークの事例に習い、深良地区の国道246号沿線に進む、県営ほ場整備地域を内陸フロンティア推進区域として申請し、農業と観光とを融合させた新たな魅力創出の場として活用していく予定は。（中村純也）

答 市としても高規格道路と農産物など地域資源を結んだ地域産業の育成を図っていく予定だが内陸フロンティアの申請は考えていない。



県営ほ場整備地域

質 県内唯一の遺構である旧御師の家を活かした事業推進は決めたのか。（土屋秀明）

答 ワークショップをあと2～3回行い、年内に意見を取りまとめ、地元関係者と協議・調整に入りたい。

質 世界遺産富士山の構成資産である須山浅間神社と一体の御師の家の復元は、市の事業としての価値があるのでは。（土屋秀明）

答 御師を伝える遺構を活用するために、施設整備を行うことになれば、市が事業主体として取り組むことになる。

質 学校施設を地域の中心に捉え、公共施設の複合化が必要と考えるが。（井出悟）

答 学校が地域の中心になり得るとの考え方は、これからのまちづくりで地域拠点を集約する一つの手法と認識。今後様々な角度から地域との話し合いを深める必要がある。平成28年度から個別具体的な検討を進める。

質 住生活基本計画の見直しで、公営住宅に対する考え方は。（岡本和枝）

答 今年度は、市公営住宅等長寿命化計画を見直す。市営住宅は現在ほとんどが借地であり、今後現地の用地を取得して建設するか、新たな場所へ用地を取得して建設するか、もしくは民間借り上げ方式などに、公営住宅の総量も検討した上で基本計画作成を考えていく。

一般質問

質 テーマは行政に依存しない地域活動団体のサポート。地域で活動する団体にとって、積極的な活動を展開する上での障害に、何かが起こった時の責任がある。市民活動の振興に寄与するため、既にあるボランティア指導者賠償責任保険の存在を広く周知しては。（小田圭介）

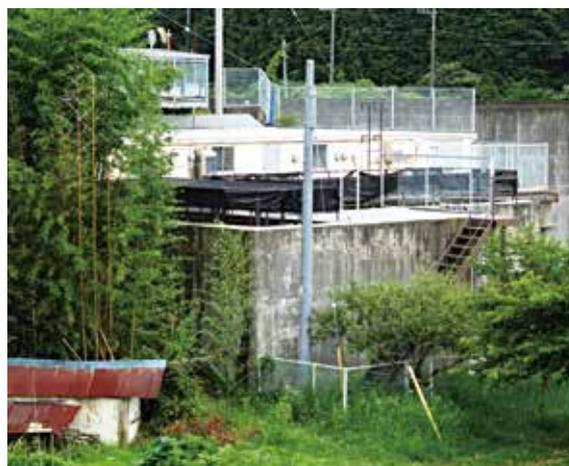
答 市民活動の振興のために今年度から当該保険の加入を促進した。周知は、報道提供や市公式ウェブサイトの掲載を実施した。今後も継続して市民のボランティア活動を支援していく。

質 県教委事業の地域での通学合宿等事業は、単なる少年育成事業ではなく地域づくりにも生かされている。一向に市内での広がりを見せないこの事業を地域づくりに視点を置き、地域の諸団体へ実施を促す仕掛けを。（小田圭介）

答 現在は報道提供や市公式ウェブサイトの掲載が主だが、今後、関わる諸団体の会合の場などへ出向き、資料の提供とともに、この事業の良いところなど個別の説明をすべく協議している。地域が主体で行う場合は、危機管理課、市民協働室と連携しながら対応していきたい。

質 市は国交省などの指導に沿って、公共下水道を整備しない地域に対して、下水管渠を含む汚水処理施設の改築、更新、運営管理という形態で関わるという考えは。（村田悠）

答 国の指針に従い公共下水道だけでなく、コミュニティプラント施設も含め、下水道や浄化槽の適切な役割が図れるよう市生活排水処理全体を見直し、環境保全に向け取り組んでいくことが将来に向けた課題だと考える。



コミュニティプラント施設

質 環境保全に向けた取り組みとは何か。（村田悠）

答 浄化槽整備事業に係る交付金の更なる拡充が可能かなど、国の動向を注視したい。

質 美化センターの延命工事が今年度終了し、平成36年まで稼働予定。その後の施設整備は基本構想で示す通り、基本的には市単独整備で計画されている。エネルギーの有効活用や事業費、運営費などを考慮すると広域での整備が望ましいと考えるが見解は。（賀茂博美）

答 広域での事業実施が望ましいと考えるが、広域相手となる自治体の状況や事情、住民の理解と協力が必要となるなど様々な課題がある。したがって単独整備も一選択肢として判断が必要。今後慎重に事業の展開を図っていきたい。

質 すその一をどう評価しているか。公共交通としていつ見直すか。（小林俊）

答 中心市街地活性化の事業だが、現在は生活交通と捉えている。平成30年度にかけて取り組む。

くらし



質 市公共下水道基本計画には、国土交通省からの事務連絡を受けて、下水道事業計画区域に変更はあるか。（二ノ宮善明）

答 次回予定される市下水道事業計画では、事業計画区域の変更はないと考える。

質 汚水処理10年概成を目指すアクションプラン後の下水道計画は、国からの補助金が打ち切られた場合でも市単独事業として行うか。（二ノ宮善明）

答 事業計画区域の整備計画に則って、市単独事業でも行っていきたい。

質 平成30年実施の市下水道アクションプランに千福が丘区は公共下水道実施区域に含まれるか。（村田悠）

答 現事業計画区域の整備を最優先としアクションプランを策定することから、実施区域に千福が丘区は含まれない。

一般質問

文化・観光



質 姉妹都市交流会の開催時に、一般市民の参加を市が募集し、旅費の一部を市負担とすることができないか。（勝又明）

答 海外友好協会が中心となって、民間交流を進めている。協会事業の中で検討していただきたい。



質 小中学生のフランクストン市短期留学生派遣を実施しているが、この派遣事業に市内小中学校の先生を派遣できないか。（勝又明）

答 海外友好協会の事業として行っているが、現在は考えていない。

質 市の活性化を考えた時、東京五輪の事前キャンプ地誘致は必要である。クレー射撃場や、公式クレー競技の機材を製造する企業が存在する当市は自治体間競争の目玉であるキャンプ地誘致には有利であると思うが、キャンプ地として手を挙げる考えは。（杉本平治）

答 要件が合致しないため考えていない。

質 深良用水特別展は市の情報発信の重要な施策とされていると思うが、1年間の取り組み方に、その役割を果たしたか疑問があるが。（岩井良枝）

答 関係者の多大な理解・協力を得て開催している特別展なので、もっと広く周知する工夫をしていきたい。

質 歴史的遺産の活用として、今後の展望をどう考えているか。（廣瀬主博）

答 歴史的な遺産などの維持管理が大切だと考え、関係団体に維持管理をお願いしている。市としては必要な財政支援や周辺環境の整備、案内看板の整備、市内外への情報発信に努めていく。

産業



質 ほ場と富士山の景観や地場産品を活用し、産業・観光視点の整備を行う予定は。

（中村純也）

答 各種法令の規制もあり難しい部分もあるが農業施設の基盤整備を行いつつ、地域活性化に繋がる施設整備手法の活用を、市の将来を踏まえ検討していく。

質 2020年の東京五輪に向け裾野市産の木材や物品の売り込みは考えているか。

（杉本平治）

答 県全体での取り組みを考えており、市単独での売り込みは考えていない。

組織・体制



質 姉妹都市フランクストンは勿論、海外の文化や人材を積極的に市の施策に取り入れるため市内の組織体制を見直さないか。（中村純也）

答 具体的な検討はしていないが、市内グローバル企業と縁がある都市との交流や活用など国際交流は市民協働の視点を持って進めたい。

質 幹部が自部署の一部最適を重視した経営しかしておらず、全体最適の視点でのファシリティマネジメントが希薄では。（井出悟）

答 指摘の通り市内横断的に推進する事が必要。幹部職員がファシリティマネジメントを議論する場を設置する。

質 現在市は有害鳥獣駆除を猟友会に委託している。猟友会は高齢化が懸念され、それに代わる鳥獣駆除が目的の、鳥獣被害対策実施隊を組織する必要があると思うが。（杉本平治）

答 今後県内他市町の動向を見ていきたい。



市内に出没した鹿

一般質問

子育て



質 子育て支援に重要な待機児童解消へ本気で取り組むべき。待遇改善や、規制緩和、近隣と連携した特区など思い切った施策が必要では。（小林俊）

答 認証保育所や、こども園、指定管理者制度など、種々の方策で取り組んでいきたい。待遇改善には取り組んでいるが資格者確保の競争になる。近隣自治体との連携も検討していきたい。



市内にある認証保育施設

医療・福祉



質 厚生労働省が発表した子どもの貧困率では16.3%の子どもが貧困と示された。当市に当てはめて試算すると1,463人が該当する。子どもの貧困の実態把握と対策は。（内藤法子）

答 生活保護世帯の子どもの数、就学援助を受けている児童は増加しているが、当市の貧困の子どもは議員試算の半分より少ないと推察され、国・県と比較して低い数値である。支援体制の整備が課題である。

その他

質 平和都市宣言から半年が過ぎたが、具体的な取り組みの計画は。（土屋秀明）

答 各中学校から男女1人ずつ計10人を7月に広島に派遣し、平和記念公園の見学や語り部の被爆体験講話などを予定している。

質 代表中学生の広島体験発表を市民に向けて、各地区の慰霊祭で発表や広報すそのへの掲載、広報無線での朗読は。（土屋秀明）

答 慰霊祭は意向を確認したい。広報すそのは実施の方向で検討する。広報無線も検討する。

質 昨年12月9日に行われた平和都市宣言を公共施設に掲示し、市民の目に留まるようにしてもらいたいと考えるが。（岩井良枝）

答 平和都市宣言を市の公共施設や外部施設も含めて、お金のかからない方法でどういことができるか考えていきたい。

質 平成25年に加入の平和首長会議で、核兵器の人的影響とリスクに関する啓発活動の展開が提唱されている。今以上の啓発活動への見解は。（岩井良枝）

答 当市は、平和都市宣言の後発組と思っている。平和首長会議に参画していくと答弁している通り、同様の他自治体の行動や、取り組みを研究したい。

質 新公会計移行の準備状況は。資産台帳は減価償却を考慮したものか。（小林俊）

答 総務省の指針に従い、建物などには取得価額や減価償却後の現在価値を記載している。

第2回 政策討論会の開催

議会基本条例第15条に基づき、議員間で議論を深める政策討論会を実施しており、今回は第2回目となります。

前回のテーマ『東京オリンピックを見据えた裾野市の観光政策について』の討論結果を基に、グループごとにディスカッションを行い、多くの建設的な提案が出されました。今後も継続して政策討論会を実施し、議論を深めていきます。

■第2回 政策討論会 平成28年4月26日実施



政策討論会の様子



追跡! あの質問どうなった?

第3回

「追跡!あの質問どうなった?」第3回を掲載いたします。
今回は、公立幼稚園3歳児定員拡大を取り上げます。

公立幼稚園5園(いずみ幼稚園を除く)で3歳児定員が、 20人から25人以内に拡大されました

平成13年度から3歳児入園が本格実施されましたが、定員が各園20人であったことから、入園希望の多い園では毎年、抽選が行われてきました。
議会ではこの3歳児抽選問題解消を求めてきました。

平成15年 9月定例会 一般質問

質 公立幼稚園3歳児定員の拡大への見解を伺う。

答 3歳児の定員増は、クラス数を増やす必要があり、施設の増築や職員の増員が必要となる。整備する敷地の問題や財政状況を考えると、現時点では困難である。導入の経過や私立幼稚園への影響なども考慮し、慎重に検討していく必要がある。

平成15年 9月定例会 一般質問

質 学校教育法に基づく幼稚園設置基準では、1学級の幼児数は35人以下を原則としている。市の幼稚園管理規則で3歳児の定員を1クラス20人以下にしている根拠は。

答 当市では、公立幼稚園で3歳児受け入れを開始する際に、保育園が児童福祉施設最低基準により、3歳児20人に対して保育士1人の配置基準になっていること、また現場の幼稚園教諭の意見や適切な教育環境を考慮して、現状の原則20人とした経過がある。

平成26年 9月定例会 一般質問

質 3歳児は言葉や運動能力の発達が目覚ましいときであり、抽選ではなく、希望する全ての子どもが幼稚園に入園できることが必要と考えるが。

答 地区ごとの人口増減、施設の定員などにより、必ずしも希望する施設に入園することはできないが、公立・私立を問わず幼稚園、保育園と調整を図りながら、就園を希望する全ての園児の受け入れを目指していく。具体的には、平成28年度から公立幼稚園3歳児クラスの定員を25人以内に拡大することや、私立幼稚園に定員の拡大をお願いし、あわせて園の取り組みのPRなどに努めたいと考えている。

平成27年 9月定例会 一般質問

質 今年度申し込みから、いずみ幼稚園以外の公立幼稚園3歳児クラスの募集人員が4人ずつ増加した。公立・私立の申込み状況から今年度での待機問題解消をどう考えるか。

答 今回の入園申し込みは、抽選の実施園が西幼稚園1園であったこと、また2回目の抽選を回避することができたことから、今回の3歳児の定員の拡大や学区の廃止策による効果があらわれたものと考えている。

第4回 議会報告会を開催しました ～参加者数合計94人～

議会基本条例に基づき、5月19日、25日と2日間にわたり議会報告会を開催しました。19日は南小学校、須山地区研修センター、深良支所で、25日は富岡支所、東地区コミュニティセンター、二本松公民館での開催でした。

はじめに、平成28年度当初予算の審査概要説明をした後、質疑を受けました。また今回初めての取り組みですが、ワークショップ形式でテーマ「公共交通（生活の足の確保）のあり方」と題して意見交換を実施しました。アンケート結果をご報告します。

■アンケート結果から(67人回答)

【ご意見や感想】

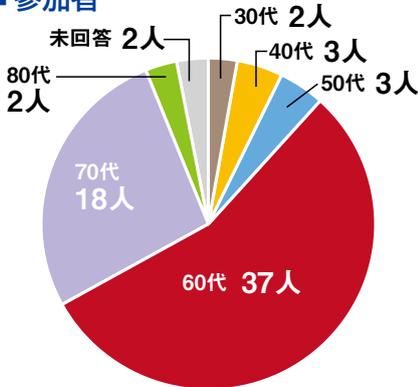
- 初めて参加したが、直接話を聞いて非常に参考になった。
- 高校生の息子も来たい気持ちがあったが、開始時間が早かったので時間調整が難しく参加できなかった。主婦の立場からするともう少し遅い時間からの開始がありがたい。
- 小グループの意見交換会は良かった。参加人数が少ないのが気になった。
- 意見交換でテーマ外の内容を話す機会が欲しかった。
- ワークショップ方式は良かったと思うが、時間が短くテーマが地区に合わなかったと思う

- 議会報告のQ & Aの内容がアバウトなので、もう少し深い説明が欲しい。
- 変わろうとする議会を応援する。

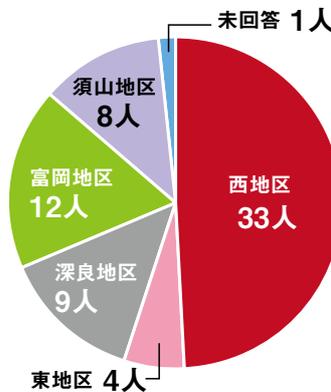


議会報告会の様子

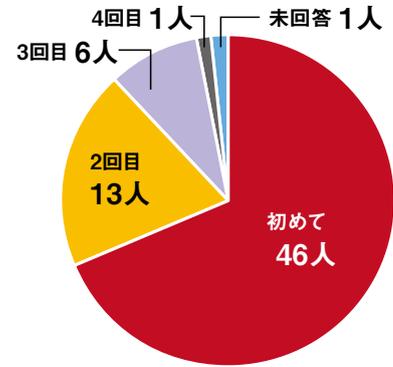
■参加者



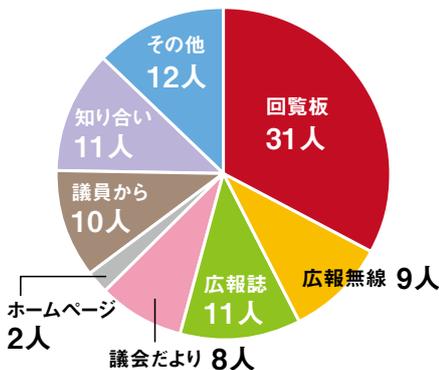
■お住まいの地区



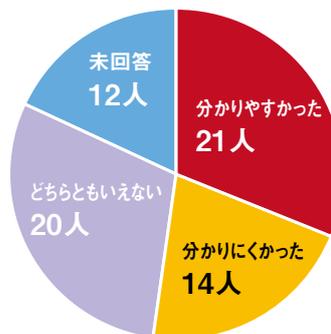
■報告会参加回数



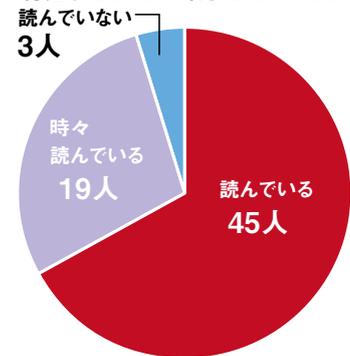
■報告会を何で知ったか



■議会報告の内容について



■議会だよりを読んでいるか



多くの方で参加、またたくさんのご意見を頂きありがとうございました。

頂いたご意見は、今後の議会活動に活かしていきます。

なお、意見交換会での意見などは、「裾野市議会ウェブサイト」に掲載します。

議会を傍聴してみても……

答弁をする各部長の声が聞き難い。答弁書を読むことは良いが、傍聴している側にも分かり易くはっきりと発言をしてほしい。

30代・男性 ほか

一問一答形式はわかりやすくて良かった。時間の関係もあると思うが質問者・答弁者とも形式的で迫力がなかった。

70代・男性

多様性のある裾野市のために、力強い活力と手腕で今後も頑張ってもらいたい。我々も協力の気持ちを忘れずに頑張ります。

70代・女性

質問方法が変わり分かり易くなった反面、議員側の時間配分が難しく感じた。答弁も直接担当者が答えるのは良いが、市長の答弁も聞きたかった。

60代・男性

質問や回答に専門用語が出るとわかりにくいことがあります。

70代・女性

傍聴者の方からのご意見・ご感想ありがとうございました。



編集後記



皆さま、暑い夏をいかがお過ごしでしょうか。熱中症には、くれぐれも気を付けて頂きたいと思います。

今回の議会だよりですが、大幅に変更した内容でお届けする事になりました。変更内容としては、6月定例会から議会です算決算委員会が始まったので、予算決算委員会の質疑が加わりました。また、一般質問も今まで議員個人の記

事内容からテーマ別の掲載に内容を変更しました。

我々議会だより編集委員会は、多くの市民の皆さまに読んで頂けるよう、日々試行錯誤しながら編集に取り組んでおります。今回の新たな取り組みで、皆さまから「読みやすくなった」と言って頂ければ幸いです。

議会だより編集委員 廣瀬 主博



議会傍聴にお越しく下さい

平成28年9月定例会(内々定)

※予定は変更する可能性があります。

9月2日	金	本会議	10:00～	9月14日	水	予算決算委員会	9:00～
9月5日	月	本会議	10:00～	9月15日	木	厚生文教分科会	9:00～
		予算決算委員会	本会議終了後	9月16日	金		
9月6日	火	予算決算委員会	9:00～	9月20日	火	本会議	10:00～
		厚生文教分科会	分科会終了後	9月21日	水	予算決算委員会	9:00～
		厚生文教委員会	分科会終了後	9月23日	金	産業建設分科会	9:00～
		予算決算委員会	13:30～	9月26日	月		
		産業建設分科会		9月27日	火	予算決算委員会	9:00～
		産業建設委員会	分科会終了後	9月28日	水	総務分科会	9:00～
9月7日	水	予算決算委員会	9:00～	9月29日	木		
		総務分科会	分科会終了後	9月30日	金	本会議	10:00～
		総務委員会	分科会終了後	10月4日	火	本会議	10:00～
		現地視察	13:30～	10月5日	水	予算決算委員会	本会議終了後
9月12日	月	本会議	10:00～	10月7日	金	本会議	10:00～
9月13日	火	本会議	10:00～				
		予算決算委員会	本会議終了後				

市役所5階の議会事務局で簡単な手続き(名前と住所の記入)を行えば、議会傍聴することが出来ます。6月定例会の傍聴者は115人でした。

編集委員

- 委員長…………… 杉山 茂規
- 副委員長…………… 村田 悠
- 委員…………… 岡本 和枝
岩井 良枝
井出 悟
廣瀬 主博

議会をチェック!!

裾野市議会 検索

